-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター）の6センター（国立健康危機管理研究機構(JIHS)・国立がん研究センター(NCC)・国立循環器病研究センター(NCVC)・国立精神・神経医療研究センター(NCNP)・国立成育医療研究センター(NCCHD)・国立長寿医療研究センター(NCGG)）では、以前に「バイオバンクにご協力いただいた方々の貴重な生体試料・診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この新たな研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　造影剤腎症を有する症例のゲノム解析

[研究対象者]　JIHS・NCC・NCVC・NCNP・NCCHD・NCGG 各バイオバンクへの協力にご同意いただいている方

[利用している検体・診療情報等の項目]　検体：DNA試料
診療情報等：基本医療情報（年齢、身長、体重、性別、疾患名、診断、使用薬剤名、血清クレアチニン値）

[利用の目的]　（遺伝子解析研究：　有）
各バイオバンクに保管されている血液由来のDNA試料を使い、造影剤腎症発症者と非発症でゲノム解析を行い、統計学的に比較検討します。一部の症例では、全ゲノム解析情報を取得し解析を更に深化させます。

[主な共同研究機関及び研究責任者]
６つのナショナルセンター・バイオバンクに所属する研究者とNCBN中央バイオバンクとJIHSゲノム医科学プロジェクトに所属する研究者が解析を実施します。尚、情報漏えい等の問題が生じないように厳重な情報管理を行います。〔主な提供方法〕その他（制限共有）

[研究実施期間]　令和2年2月15日～令和9年3月31日までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]
本機構倫理審査委員会の承認と、各ナショナルセンター（国立がん研究センター・国立循環器病研究センター・国立精神・神経医療研究センター・国立成育医療研究センター・国立長寿医療研究センター）の施設の長の許可を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]
機関長：国立健康危機管理研究機構　理事長　國土 典宏
研究責任者：国立健康危機管理研究機構　ゲノム医科学プロジェクト/NCBN 中央バイオバンク　大前　陽輔
研究内容の問い合わせ担当者：国立健康危機管理研究機構　NCBN 中央バイオバンク　高瀬　明乃
電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

作成日：令和 8 年 2 月 9 日　　第　1.1　版

[試料提供先の研究責任者・問い合わせ担当者]

研究責任者：[情報公開先 NC が必要に応じ記載]

問い合わせ担当者： [情報公開先 NC が必要に応じ記載]

電話：[情報公開先 NC が必要に応じ記載]

E メール：[情報公開先 NC が必要に応じ記載]